

「だから、神の国とその義とを先ず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」マタイ 6 : 33 セロファンに包まれた花を持った小学生や袴姿の女子大生を良く見かけますが3月は卒業シーズン。4月になると入学・入社した人で溢れるでしょう。結婚されたり、引越し業者も忙しく動きます。経済の必要が色々ある時期ですね。御家庭によって色々な工夫をしておられると思いますが、聖書から学びましょう。

「神の国とその義とをまず第一の求めるように」そうすればそれに加えて生活に必要なことは神様が与えてくださるといっています。「神の国とその義」とは具体的には何を言っているのでしょうか？それは神を恐れ、神に聞き従いなさいということです。詩篇 34 : 9 に「主を恐れよ。その聖徒たちよ。彼を恐れる者には、乏しいことはないからだ。」これは祈りと信仰一本で多くの孤児を養ったジョージ・ミューラーが最も大切にしていたみ言葉です。彼はこの言葉の真実を経験して、1度たりとも多くの孤児にひもじい思いをさせたことがなかったそうです。「主を恐れよ。」と言うのが必要条件です。私達が経済に困窮する時は、何か神様を悲しませたり、御心でないことをしていることがあります。ですから先ずそれを悔い改めて神を恐れる者となりましょう。「主を恐れるものには乏しいことがない」からです。ある婦人牧師が、お米がなくなったので「安売り」というニュースに飛びついて買い物に行こうと思ったのですが、それが丁度集会がある時間なので行けなくなったそうです。がっかりしたのですが、先ず神様のことが先だからと思って集会に出かけました。後で思いがけない方から多くのお米が送られてきたそうです。ハレルヤ！

伝道者として人柄が良いとか、メッセージが上手だとか、人の世話が良くできるとか必要なことがあります。一番大切なのは“経済をちゃんと管理できる”事だと言われています。人に頼るのではなく主にだけ信頼して神を恐れ、神に聞き従ってゆく時に、神様は私達に必要なものを全てを備えておられるのです。どうしても与えられない場合は何か神様の御思いがあるのでしょう。それを尋ねてください。

神様は私達を最高の愛で愛しておられます。(一人子を与えるほどに)ですから、私達に最も良い物を与えたいのです。求めましょう！私達は天国に国籍を置いているこの世の“寄留者”です。永遠に生かされていますが、今この時も最高の祝福を頂いて生きてゆきましょう。それは神様に聞き従う時に表されます。経済においても、人生においても、永遠に至る歩みにおいても「主を恐れ」「主に聞き従う」事から神様の大きな祝福が始まります！！



Siloam

2017年3月26日 No.938

(シロアム：遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉 「それと同じように、信仰も、

もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。」ヤコブ 2 : 17



ボニーブレアハウス



Bro.スティーブンさんのゴスペルショウケース

主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>